

第二十八回

ひがしらゑ寄席

桂九雀 -かつらくじゃく-

昭和54年3月、桂枝雀に入門。上方落語界屈指の持ちネタを誇り、古典を型通りやるもの、古典に新しい解釈・手法・オチなど新味を加えたもの、新作、復活ものと多岐にわたる。マイクロフォンを使わない会場で、生の声、生の三味線、生の鳴り物による落語会の開催に力を入れている。

また平成17年からは、落語的手法による芝居「噺劇（はなしげき）」をスタートさせ、意欲的に公演を行っている。

さらに上方落語独自の演出（ハメモノ）を和楽器以外で演奏する新作落語、又、吹奏楽団と創作した吹奏楽落語も手がけるなど、落語を基準に常にクリエイティブな挑戦をし続けている。

笑福亭 たま -しょうふくてい たま-

平成10年、笑福亭福笑に入門。実家がビリヤード店なので、たまの芸名を貰う。師匠の影響から創作落語にも新境地を見出し、また古典落語も独自の新解釈を加えて「たま落語」として再構築している。

平成15年に「大阪府舞台芸術新人賞」を受賞。その後も平成16年「大阪文化祭賞」奨励賞

平成22年「咲くやこの花賞」、平成28年「第2回上方落語若手噺家グランプリ2016」優勝

平成29年「花形演芸大賞」金賞、令和3年「第16回繁昌亭大賞」大賞など、数々の賞を受賞している上方落語界期待の逸材。

露の紫 -つゆのむらさき-

平成20年10月、露の都に入門。

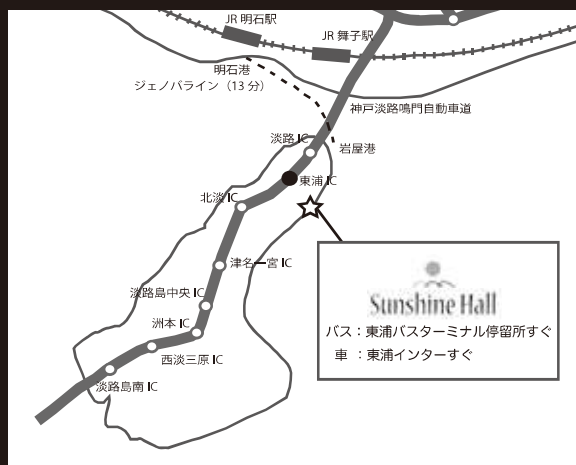
平成25年・令和元年・令和2年「NHK新人演芸大賞<落語部門>」で決勝進出。

令和元年「島の内若手落語家チャンピオンシップ優勝」他、受賞は多数。

入門10年を迎えた平成30年には、大阪・東京・今治で初の独演会「三都噺旅」を開催。

月亭 遊真 -つきてい ゆうま-

平成27年3月、月亭遊方入門。存在感のある落語で上方落語界期待の若手として注目されている。お囃子に欠かせない笛が特技で、上方落語界に無くてはならない逸材として、最重要視されている。



お問い合わせ

☎ 0799-74-0250

淡路市立サンシャインホール

〒656-2305 兵庫県淡路市浦148-1

E-mail : contact@sunshinehall.jp

HP : <https://sunshinehall.jp>

受付時間：10:00~18:30

休館日：毎週木曜日・祝翌日・

年末年始(12月28日~翌年1月4日)

